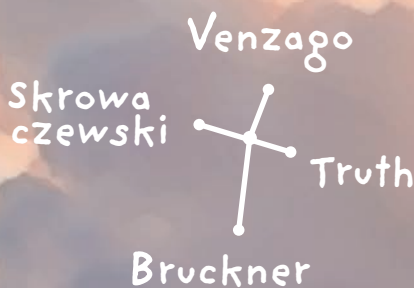


読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

この名匠が振れば間違いなし！ブルックナーが今に蘇る。



ヴェンツァーゴ先生は忙しい。
「AI時代のブルックナー宇宙論」、
完成は9月だ。

世界の檜舞台で活躍するスイスの名匠

指揮 **マリオ・ヴェンツァーゴ**

Conductor: MARIO VENZAGO

スクロヴァチェフスキ：交響曲 〈生誕100年記念〉(日本初演)

SKROWACZEWSKI: Symphony (Japan Premiere)

ブルックナー：交響曲第4番 変ホ長調 「ロマンティック」 WAB104

BRUCKNER: Symphony No. 4 in E flat major, WAB 104 "Romantic" (1878/80年稿・ノヴァーク版)

読売日本交響楽団 第631回 定期演奏会

2023 **9.12** (火) 19:00 **サントリーホール**

S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000 C ~~¥5,000~~

YNSO Subscription Concert No. 631 Tue. 12 Sep. 2023, 19:00 Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：アフラック生命保険株式会社

鮮やか。 名匠ヴェンツァーゴの ブルックナー



マリオ・ヴェンツァーゴ 指揮

ブルックナー演奏で高い評価を得ているスイスの名匠。チューリヒ生まれ。ウィーン国立音大でハンス・スワロフスキーらに師事。これまでにインディアナポリス響、ヴィンタートゥール・ムジークコレギウム、ハイデルベルク市歌劇場、グラーツ歌劇場、パーゼル響、バスク国立管、イエテボリ響などの音楽監督を歴任。2010年から14年まで王立ノーザン・シンフォニアの首席指揮者、10年から今年夏までスイスのベルン響の首席指揮者兼芸術監督を務めた。ベルリン・フィル、ボストン響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フランス国立放送フィル、ロンドン・フィルなどの楽団に客演。録音も数多く、特にCPOレーベルからリリースしたブルックナーの交響曲全集は、国際的に高い評価を受け「斬新な演奏」として日本でも話題を呼んだ。2021年には、N響に客演して以来33年ぶりに来日して読響に初登場し、絶賛された。



衝撃だった。2021年11月に、スイスの名匠マリオ・ヴェンツァーゴが読響に初登場した。前半に、ゲルハルト・オピッツをソリストに迎え、モーツァルトのピアノ協奏曲第20番、後半はブルックナーの交響曲第3番というプログラム。特に後半のブルックナーでは、骨格まで浮き彫りにするような透明感がありながら、柔らかな響きを築き、会場を魅了した。シューベルトの延長線上にあるブルックナーとも言うべきか。ヴェンツァーゴの手腕は録音などで知られていたが、その緻密で温かみのある音楽を目の当たりにしたブルックナー・ファンから大きな称賛が寄せられた。

今回の後半は、ブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」を披露する。読響は、これまで同曲をウィリー・シュタイナー(1964)、朝比奈隆(1986)、ハインツ・レークナー(1990)、ゲルト・アルブレヒト(2000、03)、下野竜也(2011他)、スタニスラフ・スコロヴァチェ

フスキ(2007、13)、シルヴァン・カンブルラン(2018)らの指揮で演奏してきた。百戦錬磨のヴェンツァーゴのタクトは、これら読響のブルックナー演奏史に、新たな一頁を刻むだろう。もちろん歴史を知らない初めての人も、そっと耳を傾ければブルックナーの音楽の和やかな魅力に出会えるはずだ。

前半には、2000年以降の読響のブルックナー演奏史を築いてきた指揮者・作曲家スコロヴァチェフスキ(1923-2017)の生誕100年を記念し、彼が2003年に作曲した交響曲を日本初演する。彼のブルックナー演奏と同じく、シンプルで筋肉質な響き、ナイーブな旋律、意外性のある楽器の組み合わせによる音色の変化など、至る所にこの音楽家の実直な性格が表れている。近現代作品も得意とするヴェンツァーゴが、スコロヴァチェフスキの交響曲を日本初演するのも、ブルックナーの音楽が導いた縁なのかも知れない。

～ スコロヴァチェフスキ 生誕100年を祝して ～



スタニスラフ・スコロヴァチェフスキは、1923年10月3日、ポーランドのリヴォフ(現在はウクライナ領)生まれ。4歳でヴァイオリンとピアノを始め、7歳で管弦楽曲を書き、11歳でピアニストとしてデビュー。13歳でベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を弾き振りするほどの神童だった。しかし、第二次

世界大戦で手を負傷したため、作曲・指揮活動に専念。2年間パリに留学し、ナディア・ブーランジェに師事。40年代後半から本格的な指揮活動に入り、ヴロツワフ・フィル、クラクフ・フィルの音楽監督などを歴任。米国ではクリーヴランド管、ニューヨーク・フィルなどに客演。その後もミネソタ管の音楽監督、英ハレ管の首席指揮者、ザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィルの桂冠指揮者などを務めた。ブルックナーの指揮で高い評価を受け、マラー・ブルックナー協会から金メダルを授与。生涯作曲家としても活動し、管弦楽作品や室内楽曲を残した。1978年5月に読響に初登場。2000年から定期的に客演し、07年から10年まで第8代常任指揮者、10年から桂冠名誉指揮者を務めた。ブルックナーの交響曲を全曲演奏したほか、ベートーヴェン、シューマン、ブラームス、ショスタコーヴィチ作品などで数々の名演を築き、読響の発展に貢献した。録音も数多く残り、絶大な支持を得た。読響との最後の演奏は、16年1月のブルックナーの交響曲第8番。全身全霊を傾けたタクトで、万雷の拍手を浴びた。17年2月21日、永眠。

読売日本交響楽団 第631回 定期演奏会

2023年 9月12日(火) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C 

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyoku.or.jp/>